MOSELLAND　　2020年　ハーベスト・レポート

2020年ヴィンテージは例年より高めの気温、乾燥した気候の下の幕開けとなりました。しかし2月と3月には大雨に見舞われました。

春はあふれんばかりの陽ざしに恵まれ、暖かな気候のもとブドウは早い芽吹きを迎えました。

幸い、ブドウの成長を妨げる雹や霜の害もありませんでした。

夏の間は、程よい降雨とたっぷりの陽ざしが、ブドウの健康な成長を後押ししてくれました。

ファルツ及びラインヘッセン地方の収穫は9月初旬に開始されました。その10日後にモーゼル、ナーエ地方で早熟な赤、白品種の収穫が始まりました。

収穫の前半は、非常に天候に恵まれました。しかし後半は、天気の変化がめまぐるしく、収穫の管理には柔軟性と効率性が求められました。

リースリングは9月24日～10月19日の間に収穫され、理想的な糖度と完璧な酸度に達した最高の完熟状態で摘み取られました。発酵も非常に順調に進みました。

現在、全てのワインはエレガントで繊細なアロマを発し、全体的に非常に期待できる出来となっています。ヴィンテージ2020は、複雑な風味と味わいを持つフルボディのワインになることでしょう。

モーゼルラント社ではおよそ2200万Lのワインを生産、これは過去10年間の平均値です。

ヴィンテージ2020のワインを皆様にご紹介する日を楽しみにしております。そして来る2021年も、輝かしい成功に向けて共に力を合わせて行きましょう！

2020年11月

By　Peter Meurer　（醸造最高責任者）

2020.11.11　KIKUCHI